

臨時農業生産情報

(小麦、にんにく、果樹に対する技術対策)

平成31年3月15日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

今冬は暖冬少雪で経過しており、仙台管区气象台が3月14日に発表した1か月予報によれば、今後も平均気温は平年に比べて高く経過する見通しです。

県内の小麦やにんにくなどの越冬作物は、例年に比べて生育が進んでおり、りんご等の果樹も発芽が早くなると予想されることから、今後の気象経過に注意するとともに、次の点に留意して、生育状況に合わせた適期の管理に努めてください。

1 小麦

(1) 3月中旬～下旬が1回目の追肥時期になるので、生育量に応じた追肥（通常窒素成分で2kg/10a程度）を行う。

ア 生育量が普通～少ない場合

3月中旬～下旬に1回目、4月下旬～5月上旬に2回目の追肥を行う。

イ 生育量が多く過繁茂な場合

1回目の追肥量を減らすか中止し、4月下旬～5月上旬頃に2回目の追肥を行う。

(2) 根の浮き上がりを抑え、凍霜害を回避するため、ほ場に入れるところは、茎立ち前までに麦踏みを行う。ただし、粘土質土壌や転作田などで過湿なほ場では、土が固まり、根の発育が悪くなるので、麦踏みは行わない。

(3) ほ場全体に雑草が発生した場合には、茎葉処理の除草剤を散布する。

(4) 降雨等による湿害を防止するため、明きょや排水溝を点検する。

2 にんにく

消雪後の強風や降雪、降雨で葉が傷むと、春腐病が発生しやすいので、予防のための薬剤防除を行う。

3 りんご等果樹

(1) 前年、りんご黒星病の発生が多く、菌密度が高い園地では、菌密度を低下させるために、消雪後のできるだけ早い時期に越冬落葉を除去するかすき込む。

(2) 発芽や開花が早まると、霜害を受ける危険性が高まるので、燃焼資材など防霜対策の準備をする。

(3) 施肥や薬剤散布などの春作業に支障がないように、剪定や枝の片付けを急ぐ。スピードスプレーヤの点検・整備を行い、薬剤防除の準備をする。

(4) 粗皮削り等の春作業は早めに実施し、腐らん病の被害部は適切に処理する。



報道機関用提供資料	
担当課	(小麦・にんにく) 農産園芸課野菜・畑作物振興グループ 大和山総括主幹 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ 小松総括主幹
電話番号	(小麦・にんにく) 直通 017-734-9485、内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092
報道監	農林水産部 石戸谷農商工連携推進監 内線 4966

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。